

企業局 事業体系（令和4年度）

基本目標

『水の恵みを未来へつなぐ』

基本方針

「経営の安定と未来への投資」

電気事業

脱炭素社会に向け、長野県の豊かな水資源を活かす水力発電により、「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図るとともに、電力の安定供給のため、未来に向けて積極的に投資

しあわせ信州創造プラン2.0
（基本方針）
産業の生産性が高い県づくり
人をひきつける快適な県づくり

水道事業

（末端給水・用水供給）

将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域化・広域連携の強化

しあわせ信州創造プラン2.0
（基本方針）
いのちを守り育む県づくり
自治の力みなぎる県づくり

主な取組

未来への投資

- ・水力発電所の建設等の推進
- 新規電源開発（発電所建設）の推進
- 基幹発電所等の大規模改修の推進

先端技術の大胆な活用

- ・監視カメラや水位計の設置等による監視強化、降雨・流入予測システムの導入
- ・水素ステーション実証事業

リスクマネジメント

- ・地域連携水力発電マイクログリッド構築に向けた検討
- ・監視カメラや水位計の設置等による監視強化、降雨・流入予測システムの導入（再掲）

地域への貢献、地域との連携

- 新「水力発電推進研究会（仮称）」の設置
- ・地域連携水力発電マイクログリッド構築に向けた検討（再掲）
- ・水の恵みを未来へつなぐ交付金事業
- ・電気事業利益を活用した地域貢献（一般会計への繰出し）
- ・地域内経済循環等に資する売電のあり方等の検討

先端技術の大胆な活用（共通事業）

- ・次世代監視制御ネットワークシステムの構築
- 発電施設統合管理システムの構築
- 浄水場中央監視制御装置の更新とネットワーク化の推進

未来への投資

- ・施設等の老朽化対策及び耐震化の推進
- ・施設の浸水対策の推進
- ・ポンプ施設のダウンサイジングの検討

先端技術の大胆な活用

- 新 水道料金のキャッシュレス決済の導入
- 新 管路マッピングシステムのモバイル化

リスクマネジメント

- ・施設等の老朽化対策及び耐震化の推進（再掲）
- ・施設の浸水対策の推進（再掲）
- ・管路マッピングシステムのモバイル化（再掲）
- ・応急給水拠点としての「安心の蛇口」の整備

地域への貢献、地域との連携

- 拡 関係市町村との広域化・広域連携の推進
- ・県内市町村等水道事業者への支援

柔軟で俊敏な組織づくり

- 新 発電所建設拠点の設置
- ・持続可能な経営のための戦略的な広報の実施
- ・しごと改革・働き方改革の推進

経営の安定